

主要農作物品種審査会

日時：令和3年10月12日（火）

午前10時から午前11時30分まで

会場：県行政庁舎11階 第二会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 報告事項

（1）令和2年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について

5 協 議

（1）令和3年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について

6 その他

7 閉 会

出席者名簿

○委員及び幹事

役職	氏名	出欠	所属及び職名
会長	本間 香貴	出席	東北大学大学院農学研究科 教授
副会長	阿部 茂	欠席	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
副会長	高橋 久則	出席	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	高澤 まき子	出席	仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科 教授
委員	中村 聡	出席	宮城大学食産業学群 教授
委員	鈴木 康則	出席	宮城県農業会議 副会長
委員	加藤 房子	出席	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
委員	大崎 早苗	出席	宮城県農業士会 副会長
委員	宮崎 理子	出席	東北農政局生産部生産振興課 課長補佐
委員	金須 豊洋	出席	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹事	齋藤 康彦	出席	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	八巻 智	出席	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	北奥 真一	出席	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹事	佐々木 都彦	出席	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

○事務局等

役職	氏名	所属及び職名
助言者	伊藤 清	全国農業協同組合連合会宮城県本部米穀部 次長
助言者	阿部 倫則	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 副主任研究員
事務局	島津 裕雄	宮城県古川農業試験場 作物育種部 主任研究員
事務局	荒井 雅秀	みやぎ米推進課 部技術副参事兼総括課長補佐
事務局	大村 雄一	みやぎ米推進課生産販売班 技術補佐（班長）
事務局	足立 陽子	みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（副班長）
事務局	猪苗代 翔太	みやぎ米推進課生産販売班 技師

令和3年度

主要農作物品種審査会資料

令和3年10月

宮 城 県

目 次

◎ 知事からの諮問	1
◎ 報告事項 （1）令和2年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について	3
◎ 審議事項 （1）令和3年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について	13



みや米第363号
令和3年9月24日

主要農作物品種審査会
会長 本間香貴 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

1 諮問内容

（1）令和3年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について

担当 農政部みやぎ米推進課
生産販売班 足立
TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849
e-mail：adachi-yo632@pref.miyagi.lg.jp

報告事項

(1) 令和2年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について

供試品種及び系統

①大麦

種類	基本調査		現地調査
	予備調査	本調査	
大麦	北陸皮糯73号	東北皮50号（1） ^注 北陸皮59号（2） 北陸皮63号（3）	北陸皮 63号（2）
	（標）ホワイトファイバー （比）ミノリムギ	（標）シュンライ （比）ミノリムギ	（標）シュンライ
計	1	3	1

②小麦

種類	基本調査		現地調査
	予備調査	本調査	
小麦	東北239号 東山61号	東北237号（3）	
	（標）夏黄金	（標）夏黄金	
	東北238号	東山60号（1） 東山58号（2） 東山55号（3）	東山55号（2）
	（標）シラネコムギ （比）あおばの恋	（標）シラネコムギ （比）あおばの恋	（標）シラネコムギ
計	3	4	1

注）品種及び系統名右側の（ ）内数字は本調査または現地調査供試年数を表す。

令和2年度（令和3年産）麦類優良品種決定調査成績概要

宮城県古川農業試験場

イ 大麦

○ 要望される品種

ミノリムギ、シユンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が少なく、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表1 令和2年度(令和3年度)大麦成績

供試系統	供試年数	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	穂発芽	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	概評		
																	長さ	短所	
北陸皮糯73号	予1	4.26	6.10	94.0	3.8	355	1.3	0.0	0.0	45.0	75	-	664	39.5	3.5	38.6	45.6	△	<ul style="list-style-type: none"> ・外観品質が優る。 ・硝子率が高い。 ・精麦白度が低い。
(標)ホワイトアイハ-		4.23	6.07	94.1	4.0	427	2.0	0.0	0.0	59.7	100	-	684	38.9	4.0	27.3	47.2		→収量が劣るが標準品種より外観品質が優るため再検討。

東北皮50号	予1 本1	4.23	6.09	94.5	3.4	418	0.3	0.0	0.0	53.1	-	80	672	40.0	5.0	21.1	51.0	×	<ul style="list-style-type: none"> ・硝子率低い ・精麦白度が高い。
北陸皮59号	予1 本2	4.23	6.08	88.2	3.7	486	0.9	0.0	0.0	58.1	-	88	717	40.4	5.0	49.1	45.5	※	<ul style="list-style-type: none"> ・容積重が重い。 ・硝子率が低い。

北陸皮63号	予1 本3	4.22	6.07	99.5	3.9	552	1.6	0.0	0.0	72.5	-	110	697	40.0	5.0	56.8	44.0	※	<ul style="list-style-type: none"> ・収量が優る。
(標)シユンライ		4.21	6.07	98.0	3.6	480	1.7	0.0	0.0	66.0	-	100	695	40.6	5.0	51.5	44.4		→特性把握に付き調査終了。

(比)ミノリムギ		4.26	6.10	101.6	3.9	486	1.2	0.0	0.0	69.0	-	105	676	37.5	4.0	53.1	45.1		→特性把握に付き調査終了。
----------	--	------	------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	------	---	-----	-----	------	-----	------	------	--	---------------

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。
 注2) 倒伏の多少 0:無, 1:少, 2:中, 3:多, 4:甚
 注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無, 1:微, 2:少, 3:中, 4:多, 5:甚
 注4) 外観品質 1:上の上, 2:上の中, 3:上の下, 4:中の上, 5:中の下, 6:下
 注5) 有望度 ◎:ごく有望, ○:有望, △:再検討, ×:打ち切り, ※:中止
 耕種概要等(追肥以外は大麦・小麦共通)

大麦ランク区分

用途	評価項目	基準値		許容値
		容積重	細麦率	
主食用等	容積重	690g/L以上	-	-
	細麦率	2.2mm篩下に2.0%以下	-	-
	白度	43以上 基準歩留:55% 農産物検査時から1か月以上経過したサンプル	40以上	
	硝子率	40%以下	50%以下	

*経営所得安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

播種月日	令和2年10月14日
播種方法	ドリル播き(シャター7)条間25cm 220粒/m ² (約0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素燐加安777 窒素:0.8kg 燐酸:0.8kg 加里:0.8kg
追肥(aあたり)	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麦)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂前期0.25kg(小麦めん用)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂前期0.5kg(小麦めん用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場H-2(ほ場(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区12m ² (4m x 3m) 2反復

表2 大麦供試系統の歴年成績

①東北皮50号(シュンライ対照)

系統及び 品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か 病	穂 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%) シュンライ	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦白度 (%)	有望 度	概評
東北皮50号	令和元	4.27	6.06	88.0	4.0	382	0.0	0.0	0.0	59.2	97	710	38.4	4.0	13.8	50.2	△	・「シュンライ」と比較して出穂期は1日、成熟期は3日遅い。 ・収量は劣る。千粒重は同程度。容積重は劣る。 ・外観品質が優り、硝子率が低い。 ・精麦白度が高い。
	令和2	4.23	6.09	94.5	3.4	418	0.3	0.0	0.0	53.1	80	672	40.0	5.0	21.1	51.0	×	
	平均	4.25	6.08	91.2	3.7	400	0.2	0.0	0.0	56.2	89	691	39.2	4.5	17.5	50.6		
(標)シュンライ	令和元	4.27	6.03	91.5	3.7	427	0.0	0.0	0.0	61.3	100	719	40.8	5.0	50.4	45.2		
	令和2	4.21	6.07	98.0	3.6	480	1.7	0.0	0.0	66.0	100	695	40.6	5.0	51.5	44.4		
	平均	4.24	6.05	94.7	3.6	454	0.9	0.0	0.0	63.7	100	707	40.7	5.0	51.0	44.8		

②北陸皮59号(シュンライ対照)

系統及び 品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か 病	穂 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%) シュンライ	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦白度 (%)	有望 度	概評
北陸皮59号	平成30	4.25	6.03	88.3	4.1	488	0.0	-	-	62.5	91	680	33.7	3.5	17.5	-	△	・「シュンライ」と比較して出穂期、成熟期とも同程度。 ・収量は劣る。容積重は重い。 ・外観品質は同程度。 ・精麦白度がやや高い。
	令和元	4.25	6.03	84.8	3.7	433	0.0	0.0	0.0	61.1	100	721	37.2	5.0	51.1	46.4	△	
	令和2	4.23	6.08	88.2	3.7	486	0.9	0.0	0.0	58.1	88	717	40.4	5.0	49.1	45.5	※	
平均	4.24	6.05	87.1	3.8	469	0.3	0.0	0.0	60.6	93	706	37.1	4.5	39.2	46.0			
(標)シュンライ	平成30	4.25	6.05	95.8	4.0	611	0.5	-	-	68.4	100	650	34.1	3.5	45.8	-		
	令和元	4.27	6.03	91.5	3.7	427	0.0	0.0	0.0	61.3	100	719	40.8	5.0	50.4	45.2		
	令和2	4.21	6.07	98.0	3.6	480	1.7	0.0	0.0	66.0	100	695	40.6	5.0	51.5	44.4		
平均	4.24	6.05	95.1	3.8	506	0.7	0.0	0.0	65.2	100	688	38.5	4.5	49.2	44.8			

③北陸皮63号(シュンライ対照)

系統及び 品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か 病	穂 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%) シュンライ	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦白度 (%)	有望 度	概評
北陸皮63号	平成29	4.24	6.05	79.4	4.3	388	0.0	0.0	0.0	54.1	121	710	41.5	5.0	49.5	47.8	△	・「シュンライ」と比較して出穂期、成熟期とも1日早い。 ・収量は優る。千粒重および容積重は同程度。 ・外観品質が劣り、硝子率が高い。 ・精麦白度がやや高い。
	平成30	4.26	6.04	96.0	4.6	506	0.5	-	-	70.8	104	678	36.0	4.0	50.6	-	△	
	令和元	4.23	6.03	90.3	4.2	371	0.0	0.0	0.0	58.7	96	706	40.1	5.0	53.8	47.0	△	
令和2	4.22	6.07	99.5	3.9	552	1.6	0.0	0.0	72.5	110	697	40.0	5.0	56.8	44.0	※	×	
平均	4.24	6.05	91.3	4.3	454	0.5	0.0	0.0	64.0	108	698	39.4	4.8	52.7	46.3			
(標)シュンライ	平成29	4.27	6.07	73.8	3.9	312	0.0	0.0	0.0	44.8	100	722	41.6	4.0	50.5	46.2		
	平成30	4.25	6.05	95.8	4.0	611	0.5	-	-	68.4	100	650	34.1	3.5	45.8	-		
	令和元	4.27	6.03	91.5	3.7	427	0.0	0.0	0.0	61.3	100	719	40.8	5.0	50.4	45.2		
令和2	4.21	6.07	98.0	3.6	480	1.7	0.0	0.0	66.0	100	695	40.6	5.0	51.5	44.4			
平均	4.25	6.06	89.8	3.8	457	0.6	0.0	0.0	60.1	100	697	39.3	4.4	49.5	45.3			

注1)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2)赤か病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3)品質概評 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注4)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止

口 小麦

○ 要望される品種

夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、萌芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。
シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、糊化縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

表3 令和2年度(令和3年産)小麦成績

供試系統	供試年数	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m)	倒伏率(%)	赤かび病発生率(%)	穂発芽率(%)	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質DM(%)	有望度	長所	短所	
東北239号	予1	5.07	6.23	75.8	8.6	447	0.0	0.0	0.0	60.4	-	119	811	38.8	4.0	11.8 ^{注6)}	△	・収量が優る。 →容積重が軽い →容積重が軽い →収量が優るので再検討。 ・収量が劣る。 ・長稈で倒伏多い。	
東山61号	予1	5.05	6.21	84.8	7.4	527	1.1	0.0	0.0	48.0	-	95	839	38.2	3.0	15.1 ^{注6)}	△	・容積重が重い →収量が劣るが容積重が重いので再検討。 ・収量が劣る。 ・長稈で倒伏多い。	
東北237号	予1 本3	5.05	6.21	86.0	8.0	401	1.3	0.0	0.0	34.3	-	68	828	37.1	4.0	15.4	※	・収量が優る。 →特性把握に付き調査終了。	
(標)夏黄金	5.05	6.20	76.8	8.0	448	0.6	0.0	0.0	50.6	-	100	829	37.8	4.0	14.3		・収量が優る。 ・容積重が重い。 →収量が優り、容積重が重いので再検討。 ・収量が優る。		
東北238号	予1	5.03	6.19	80.8	9.6	346	0.6	0.0	0.0	59.3	121	119	-	831	40.1	3.0	11.8	○	→収量が優るが容積重が軽く再検討。 ・収量が優る。
東山60号	予1 本1	5.02	6.18	77.7	7.5	461	1.5	0.0	0.0	53.0	108	107	-	818	38.6	3.0	12.5	△	・容積重が軽い。 →収量が優るが容積重が軽く再検討。 ・収量は同程度。
東山58号	予1 本2	5.02	6.17	77.4	7.4	425	0.5	0.0	0.0	48.7	99	98	-	838	39.8	4.0	11.7	△	・収量は同程度だが容積重が重く再検討。 ・収量が優る。 →特性把握に付き調査終了。
東山55号	予1 本3	5.02	6.19	77.3	7.6	476	1.7	0.0	0.0	52.1	106	105	-	819	41.6	4.0	11.6	※	・容積重が軽い ・倒伏が自立つ。

(標)シラネコムギ 5.04 6.22 82.6 7.5 405 1.6 0.0 0.0 49.2 100 - 823 41.3 4.0 13.0

(比)あおばの恋 4.30 6.17 76.0 6.8 468 2.5 0.0 0.0 49.7 - 100 - 822 45.2 4.0 13.1

注1)供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。

注2)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3)赤かび病発生率の上 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4)外観品質 0:上、1:中、2:下、3:中、4:中、5:中、6:下

注5)有望度 ○:ごく有望 △:再検討 ×:打ち切り ※:中止

注6)東北239号、東山61号は小麦めん用の追肥量(パン用より少ない)を施用したため蛋白質は参考値。

品質評価基準(小麦)

用途	評価項目	基準値	許容値
パン・中華めん用	たんばく区分	11.5%以上14.0%以下	10.0%以上15.5%以下
	容積重	1.75%以下	1.80%以下
日本めん用	たんばく区分	833g/L以上	—
	容積重	300以上	200以上
その他	たんばく区分	9.7%以上11.3%以下	8.5%以上12.5%以下
	容積重	1.60%以下	1.65%以下
その他	たんばく区分	840g/L以上	—
その他	たんばく区分	300以上	200以上

*経営所得安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

要望される小麦のたんばく含量(%)	
軟質	中間質
9~10	10~11
硬質	13~14
主な用途	主な用途
菓子	うどん
パン・中華めん	パン・中華めん

*令和3年度東日本地域麦類育成系統立毛検討会資料「実需者からの要望」より

表4 小麦供試系統の歴年の成績

①東北237号(夏黄金対照)

系統及び品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か ひ病	種 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 DM (%)	有望度	概評
										夏黄金	DM (%)						
東山237号	平成29	5.07	6.24	75.8	328	0.0	1.0	0.0	44.1	91	837	38.4	3.0	10.2	○	・「夏黄金」と比較して出穂期は同日、成熟期は1日早い。 ・収量は劣る。容積重は優る。 ・外観品質は優る。	
	平成30	5.10	6.18	89.2	514	0.0	—	58.8	90	840	38.1	2.0	—	△			
	令和元	5.05	6.14	82.4	430	0.0	0.0	46.6	105	816	35.7	3.5	15.4	△			
	令和2	5.05	6.21	86.0	401	1.3	0.0	34.3	68	828	37.1	4.0	15.4	※			
	平均	5.07	6.19	83.3	418	0.3	0.3	45.9	88	830	37.3	3.1	13.7				
(標)夏黄金	平成29	5.06	6.23	69.9	388	0.0	1.0	0.0	48.6	100	815	37.4	4.0	10.7			
	平成30	5.10	6.21	85.2	502	0.0	—	65.5	100	822	40.5	4.0	—				
	令和元	5.06	6.15	73.8	420	0.0	0.0	44.4	100	808	36.7	3.0	13.1				
	令和2	5.05	6.20	76.8	448	0.6	0.0	50.6	100	829	37.8	4.0	14.3				
	平均	5.07	6.20	76.4	440	0.2	0.3	52.3	100	819	38.1	3.8	12.7				

②東山60号(シラネコムギ対照)

系統及び品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か ひ病	種 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 DM (%)	有望度	概評
										シラネコムギ	DM (%)						
東山60号	令和元	5.04	6.14	72.6	400	0.0	0.0	0.0	42.0	108	807	38.5	3.0	12.1	△	・「シラネコムギ」と比較して出穂期は3日、成熟期は2日早い。 ・収量は優る。千粒重、容積重はやや少ない。 ・外観品質は優る。タンパク質含有量は同程度。	
	令和2	5.02	6.18	77.7	461	1.5	0.0	53.0	108	818	38.6	3.0	12.5	△			
	平均	5.03	6.16	75.2	431	0.8	0.0	47.5	108	813	38.6	3.0	12.3				
	令和元	5.07	6.14	70.1	322	0.0	0.0	39.0	100	810	37.9	3.0	12.2				
	令和2	5.04	6.22	82.6	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0				
平均	5.06	6.18	76.4	364	0.8	0.0	44.1	100	817	39.6	3.5	12.6					

③東山58号(シラネコムギ対照)

系統及び品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か ひ病	種 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 DM (%)	有望度	概評
										シラネコムギ	DM (%)						
東山58号	平成30	5.06	6.14	84.9	7.8	592	0.0	—	68.5	113	829	37.2	4.0	—	△	・「シラネコムギ」と比較して出穂期は3日、成熟期は4日早い。 ・収量は優る。千粒重は軽い。容積重は同程度。 ・外観品質は劣る。タンパク質含有量は少ない。	
	令和元	5.04	6.15	73.5	7.6	411	0.0	0.0	44.7	115	806	36.0	4.0	11.0	△		
	令和2	5.02	6.17	77.4	7.4	425	0.5	0.0	48.7	99	838	39.8	4.0	11.7	△		
	平均	5.04	6.15	78.6	7.6	476	0.2	0.0	54.0	109	824	37.7	4.0	11.4			
	平成30	5.10	6.21	87.0	7.4	546	1.0	—	60.8	100	835	42.2	3.5	—			
(標)シラネコムギ	令和元	5.07	6.14	70.1	8.0	322	0.0	0.0	39.0	100	810	37.9	3.0	12.2			
	令和2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0			
	平均	5.07	6.19	79.9	7.6	424	0.9	0.0	49.7	100	823	40.5	3.5	12.6			

④東山55号(シラネコムギ対照)

系統及び品種名	試験年度	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤か ひ病	種 発芽	子実重 (kg/a)	同比率(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 DM (%)	有望度	概評
										シラネコムギ	DM (%)						
東山55号	平成29	5.04	6.23	73.0	8.5	394	0.0	1.0	0.0	51.7	102	793	39.4	4.0	9.8	△	・「シラネコムギ」と比較して出穂期は1日、成熟期は2日早い。 ・収量は優る。千粒重は同程度。容積重はやや少ない。 ・外観品質はやや劣る。タンパク質含有量は同程度。 ・美里の現地試験で2年とも赤かひ病発生程度が低い。 ・長野県で「しろゆたか」の名称で登録申請中。
	平成30	5.07	6.16	82.4	8.0	508	0.0	—	67.3	111	817	42.1	3.0	—	△		
	令和元	5.05	6.14	70.6	7.7	353	0.0	0.0	38.7	99	798	40.2	4.0	12.7	△		
	令和2	5.02	6.19	77.3	7.6	476	1.7	0.0	52.1	106	819	41.6	4.0	11.6	※		
	平均	5.06	6.18	75.8	8.0	433	0.4	0.3	52.4	104	807	40.8	3.8	11.4			
(標)シラネコムギ	平成29	5.04	6.23	73.4	7.4	367	0.0	1.0	0.0	50.7	100	833	40.2	3.0	10.2		
	平成30	5.10	6.21	87.0	7.4	546	1.0	—	60.8	100	835	42.2	3.5	—			
	令和元	5.07	6.14	70.1	8.0	322	0.0	0.0	39.0	100	810	37.9	3.0	12.2			
	令和2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0			
	平均	5.06	6.20	78.3	7.6	410	0.7	0.3	49.9	100	825	40.4	3.4	11.8			

注1) 倒伏の多少: 0: 無, 1: 少, 2: 中, 3: 多, 4: 重
注2) 赤かひ病および種発芽の発生程度: 0: 無, 1: 軽, 2: 少, 3: 中, 4: 多, 5: 甚
注3) 品質概評: 1: 上, 2: 上, 3: 中, 4: 中, 5: 中の下, 6: 下
注4) 有望度: ◎: ごく有望, ○: 有望, △: 再検討, ×: 打ち切り, ※: 中止

審議事項

(1) 令和3年度優良品種決定調査に供する品種(麦類)について

供試品種及び系統

①大麦

種類	用途	基本調査		現地調査
		予備調査	本調査	
大麦	精麦	北陸皮72号	—	—
		(標)シュンライ (比)ミノリムギ		
	精麦 (糯)	東山皮糯120号	北陸皮糯73号	—
		(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー	
計		2	1	0

②小麦

種類	用途	基本調査		現地調査
		予備調査	本調査	
小麦	パン・ 中華 めん	東山62号	東北239号(1) 東山61号(1)	—
		(標)夏黄金	(標)夏黄金	—
	めん	—	東北238号(1) 東山60号(2) 東山58号(3)	東北238号(1)
		—	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ
計		1	5	1

注)品種及び系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

参 考 资 料

目 次

I	要望される品種（麦類）	1
II	令和3年度麦類優良品種決定調査供試系統（案）特性概要	2
III	宮城県優良品種決定基準	5
IV	宮城県主要農作物優良品種区分基準	6
V	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	7
VI	宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分	8
VII	優良品種決定調査の方法	9
VIII	宮城県優良品種決定調査方法	10
IX	主要農作物種子条例	12
X	主要農作物品種審査会構成員名簿	14
X I	優良品種特性表（水稻）	15
X II	優良品種特性表（大豆）	16
X III	優良品種特性表（麦類）	17
X IV	水稻優良品種の年次別作付面積	18
X V	大豆優良品種の年次別作付面積	19
X VI	麦類優良品種の年次別作付面積	20

I 要望される品種（麦類）

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

II 令和3年度 麦類優良品種決定調査供試系統(案)特性概要

①大麦

1)本調査

系統名	組み合わせ	世代	特性の概要
北陸皮糯73号	新系WM1/東山皮113号	F7	<p>【ホワイトファイバー対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバー・スノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性はIV-Vの秋播型である。 ・出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数は同程度である。 ・収量、整粒歩合は同程度で、容積重はやや小さく、千粒重は同程度である。 ・うどんこ病に罹病し、耐雪性は同程度かやや強い。大麦縞萎縮病I+III型には同程度の抵抗性である。 ・搗精時間は長くはねうまもちと同程度で、精麦白度はやや高く、砕粒率が低い。硝子率は低くはねうまもちと同程度である。SKCS硬度が大きくはねうまもちと同程度である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は1日遅い。成熟期は3日遅い。 ・収量が劣る。 ・外観品質が優る。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>

2)予備調査

系統名	組み合わせ	世代	特性の概要
北陸皮72号	東山皮110号/北陸皮48号	F12	<p>【シュンライ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバー・スノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性はIVの秋播型である。 ・出穂期は3日程度、成熟期は1日程度早い。 ・稈長はやや長く、穂長は同程度かやや長く、穂数は同程度である。 ・収量は標準比で110程度と多く、整粒歩合はやや大きい。容積重はやや小さく、千粒重は同程度かやや大きい。 ・雲形病に罹病し、うどんこ病に弱い。穂発芽性、耐雪性は中程度である。 ・搗精時間が短く、精麦白度は同程度で、砕粒率が高い。硝子率は10%程度低く、空洞麦率が高い。原麦粗タンパク含量はやや低く、原麦β-グルカン含量は同程度で、SKCS硬度は同程度か小さい。
東山皮糯120号	長交1537・東山皮糯109号(ホワイトファイバー)/ファイバー・スノウ	F11	<p>【ホワイトファイバー対照】</p> <p>◆育成地における成績(ホワイトファイバー比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性、皮性のもち種で、播性程度はI~IIである。 ・出穂期・成熟期は同等。 ・収量が多い。 ・容積重はやや大きく、千粒重は同等。 ・オオムギ縞萎縮病抵抗性は、I+III型が「極強」、II型は「中」だが、発病は確認される。 ・硝子率はやや低く、白度は高い。 ・アミロース含量は同等で在来型もち種である。 ・β-グルカン含量はやや少ないが、実需者が求める基準を満たしている。

②小麦

1)本調査

系統名	組み合わせ	世代	特性の概要
東北239号	盛系D-B019/ 盛系D-B031	F12	<p>【夏黄金対照】</p> <p>◆育成地における成績(ゆきちから比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性Ⅴ。出穂期は2日程度遅く、成熟期は1日程度遅いやや早生種。 ・白ふ、有芒で、稈長が短く穂長はやや長い。 ・耐雪性は”やや弱”で、穂発芽性は1ランク優る”やや難”である。 ・縞萎縮病抵抗性は”やや強”で、うどんこ病抵抗性は”中”で、赤さび病抵抗性は”やや強”である。 ・収量が多く、千粒重と容積重が大きく、外観品質が優れる。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は2日遅い。成熟期は3日遅い。 ・収量が優る。 ・容積重が軽い。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
東山61号	ユメセイキ/東北223号(銀河のちから)	F13	<p>【夏黄金対照】</p> <p>◆育成地における成績(ハナマンテン、ゆめかおり比)(以下ハナマンテンをH、ゆめかおりをYと略記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状態の有芒種。ふ色は褐色である。 ・出穂期はHより6日、Yより2日遅い。成熟期はHより5日程度遅く、Yより2日遅い。 ・稈長はHより長く、Yよりやや短い。穂長はHよりやや長く、Yより長い。穂数はH、Yより少ない。倒伏はHより強く、Yと同程度である。 ・収量はH、Yより多収、容積重はHよりやや大きく、Yと同等。千粒重はHよりやや大きく、Yより小さい。外観品質はHよりやや優れ、Yよりやや劣る。 ・耐寒性「やや強」耐雪性「強」であり、H、Yより優れる。穂発芽性は「難」であり、H、Yと同等である。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」でH、Yと同等である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は同程度。成熟期は1日遅い。 ・収量は優る。 ・容積重が重い。 ・長稈で倒伏多い。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
東北238号	盛系D-B030//関東135号/きたほなみ	F12	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ネバリゴシ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性Ⅳ。出穂期は3日程度早く、成熟期は同程度の早生種。 ・白ふ、有芒で、稈長がやや長く穂長が長い。 ・耐雪性は”やや弱”で、穂発芽性は”やや難”である。 ・縞萎縮病抵抗性は”やや強”で、うどんこ病抵抗性は”やや強”で、赤さび病抵抗性は”強”である。 ・収量が多く、容積重が大きく、外観品質は同程度。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は1日早い。成熟期は3日早い。 ・収量は優る。 ・容積重が重い。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得ると共に、現地試験に供試して適応性を検討する。</p>

(小麦本調査続き)

系統名	組み合わせ	世代	特性の概要
東山60号	キヌヒメ/東北224号	F12	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(しゅんよう比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常アミロース含量のめん用軟質小麦。 ・播性Ⅳ～Ⅴ。出穂期は5日、成熟期は5日程度早い。 ・稈長はやや長く、穂長はやや短く、穂数は少ない。 ・収量が多く、容積重及び千粒重は大きい。 ・耐寒性「強」、耐雪性「強」、穂発芽性は「難」で同等。 ・コムギ縞萎縮病抵抗性は「強」で同等。 ・外観品質は優れる。 ・製粉歩留は低い。ミリングスコアが高い。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期が2日早く、成熟期は4日早い。 ・収量は優る。容積重はやや軽い、千粒重はやや小さい。 ・外観品質は優る。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
東山58号	東山46号/東山42号	F15	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや低アミロース含量のめん用軟質小麦。 ・播性Ⅳ。出穂期は2日、成熟期は1日早い。 ・稈長は同等、穂長はやや長い。穂数は多い。 ・耐寒性は「やや強」、耐雪性は「やや強」。 ・コムギ縞萎縮病とコムギ萎縮病は「強」。 ・収量が多く、容積重はやや大きく、千粒重は小さい。 ・外観品質がやや優れる。 ・製粉歩留、ミリングスコアが高い。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期が2日早く、成熟期は5日早い。 ・収量は同程度。 ・容積重は重い。 <p>令和3年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>

2) 予備調査

系統名	組み合わせ	世代	特性の概要
東山62号	長交小2135・東山42号(ゆめかおり)//東山42号/東北233号(銀河のちから)	F12	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ゆめかおり対比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状態の有芒種、ふ色は淡黄である。 ・出穂期は3日遅い。成熟期は2日遅い。 ・稈長はやや短い。穂長はやや長い。穂数はやや少ない。倒伏は同等である。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「中」であり、優れる。穂発芽性は「難」の同等である。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」で同等である。 ・製粉歩留及びミリングスコアは高い。 ・60%分の蛋白質含量はやや低い。

Ⅲ 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し，重大な欠点明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しが無い場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

IV 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稲・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)

「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

V 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
200 ha	100 ha	100 ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面積	備 考
水 稲	200 ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	200 ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	300 ha	1銘柄販売ロット500t以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
100 ha	50 ha	50 ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

Ⅵ 宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ，ササニシキ， まなむすめ，だて正夢	トヨニシキ，げんきまる， 東北194号，金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ，つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ，こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華（酒造好適米）	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ，夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ，あやこがね	すずほのか，タチナガハ， きぬさやか
晩 生	ミヤギシロメ	—

Ⅶ 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設定した場合には、この限りではない。

稲及び大豆	12月末日
麦類	7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

VIII 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟 耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物 の種類	区制		耕種法の種類
		1区面積	区数	
基本 予備 調査	稲	6 m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 本県に最も普及している耕種様式 により調査を行う。
	麦類	10 m ² 以上		
大豆	12 m ² 以上			
調 本調査	稲	6 m ² 以上	3区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 本県に最も普及している耕種様式 を原則として複数用いて調査を行う。
	麦類	10 m ² 以上		
	大豆	12 m ² 以上		
現地調査	稲 麦類 大豆	20 m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 優良品種適応地域ごとに最も普及 している耕種様式により調査を行う。

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備調査	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
現地調査		<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

IX 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第59号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会

長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

X 主要農作物品種審査会構成員名簿

(令和3年7月)

役職名	氏名	所属及び職名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	高澤 まき子	仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科 教授
〃	中村 聡	宮城大学食産業学群 教授
〃	鈴木 康則	宮城県農業会議 副会長
〃	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長
〃	宮崎 理子	東北農政局生産部生産振興課 課長補佐
〃	金須 豊洋	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹事	齋藤 康彦	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	北奥 真一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	佐々木 都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

Ⅻ 優良品種特性表(大豆)

種 類	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採 用 年 次	奨 励 品 種 区 分	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	主 枝 数 (本)	分 枝 数 (節)	主 茎 節 数 (節)	葉 形 型	葉 青 有 無	毛 茸 の 有 無	花 色	莢 色	莢 裂 性	子 実										病 害 抵 抗 性	密 播 適 応 性	特 性 概 要	栽培適地	
																	百粒重(g)	形状	皮色	*種皮色	10a当たり収量(kg)	粗たんぱく質(%)	粗脂肪(%)	全糖(%)	*外觀品質	*ウイルス病害					*立枯性病害
大豆	すずほのか	注2 刈交78F×コスス (東北農試、平19)	平 20	特 定	8.08	10.12	60	4.2	15.2	三角形	有 限	白	白	紫	淡	中	9.2	球	黄	307	45.1	17.6	22.3	中	強	強	強	大	大	莢長は短差。分枝数多く、着莢数も多い。耐倒伏性は強。密播適応性は並びに晩播適応性高い。ウイルス病抵抗性強。紫斑病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。種小粒で品質良。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	タンレイ	農林2号×東山6号(シロメ ユタカ) (長野県中信農試、昭53)	昭 53	基 幹	7.30	10.20	75	4.7	15.0	有 限	白	白	紫	褐	中	33.0	楕円	黄	388	45.3	19.5	21.3	中	強	強	強	大	大	莢長は中差。主莖節数、分枝数やや少ない。繁茂量多いが耐倒伏性は強。多肥条件では早播に適し、密播適応性は並びに晩播適応性大。立枯性病害抵抗性強。紫斑病の発生多い。ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。中粒で粘り良く品質良。	山間高冷地を除く 県下一円	
大豆	あやこがね	東山124号(ホウレイ)×工 ンレイ (長野県中信農試、平11)	平 11	基 幹	7.27	10.21	91	4.3	16.5	有 限	白	白	紫	褐	中	35.1	球	黄	351	45.3	19.4	21.7	中	強	中	中	中	大	大	莢長は中差。主莖節数、分枝数ともやや少ない。耐倒伏性は強。晩播適応性が高い。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。立枯性病害抵抗性強。紫斑病抵抗性中。やや大粒で品質良。豆腐・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	タチナガハ	東山61号×東山系G627 (長野県中信農試、昭61)	平 18	特 定	7.30	10.27	79	5.4	15.6	長 中間	有 限	白	白	紫	褐	中	37.1	楕円	黄	456	42.9	20.4	21.6	中	強	中	中	中	中	莢長は中差。分枝数やや少ない。ウイルス病抵抗性中だがウイルスの系統によっては抵抗性がない。ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。立枯性病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	きぬさやか	刈系508号×刈交0459F、 (東北農研、平17)	平 18	特 定	7.25	10.16	76	4.9	15.2	有 限	白	白	白	中	中	28.5	球	黄	391	43.4	19.3	23.2	中	強	強	強	中	中	莢長は中差。分枝数中程度。耐倒伏性は強。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。立枯性病害抵抗性中。紫斑病抵抗性中。やや強。中粒で品質良。青実みの原因であるリボキシンナーゼとグルコース7アザセチルサボニンを欠失しており、豆腐加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円	
大豆	ミヤギシロメ	岩沼在来種の系統分離 (宮城農試、昭36)	昭 36	基 幹	8.04	11.04	109	6.1	17.2	有 限	白	白	紫	褐	淡	中	42.3	や楕円	黄	455	43.7	18.8	23.6	中	強	弱	弱	小	小	莢長は長差。初期生育旺盛。分枝数やや少ないが開張性本葉大きく受光体勢不良で萎化・倒伏しやすい。紫斑病抵抗性強。立枯性病害・ダイズシストセンチュウ病抵抗性弱。種大粒で品質良。	県下平地地帯

注1) 特性表のデータは、過去5か年(平成28~令和2年)の優良品種決定調査結果の平均値。

注2) 「すずほのか」は、平成16~19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。

注3) 「あやこがね」は、平成25~29年のデータ。

注4) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。

注5) 「*」印を付した項目は「たいす種苗特性分類」(農林水産省)によるもので、品種採用時の表記方法を用いているため、採用年次により同一特性でも表記が異なる場合がある。

注6) 「タンレイ」の紫斑病抵抗性は「たいす種苗特性分類」(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。

ⅨⅩ 優良品種特性表(麦類)

種類	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採用年次	奨励品種区分	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	* 芒の長短	* 株の開閉	* 穂発芽性	* 脱粒性	* 秋播性程度	原容		品質(GO%粉)		外観品質	諸抵抗性						概要						
															千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 当たり収量 (kg)	粗蛋白質含有率 (%)		灰分 (%)	色相 白度	* さび病	* うどんこ病	* 赤かび病	* 凍上害抵抗性		* 耐寒性	* 耐雪性	耐倒伏性			
小麦	あおはの恋	(関東105号×Veery'S')F ₁ ×西海171号 (農研七, 平20)	平20	特定	5.2	6.18	75	7.5	486	やや長	中	かなり難	中	Ⅱ	42.2	829	558	9.5	0.49	85	中の上	* さび病	中	やや弱	やや弱	弱	—	—	中	中	中	早生。中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製麺適性が優れる。
小麦	シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試, 昭61)	平元	基幹	5.6	6.21	79	7.6	416	中	閉	難	中	Ⅳ	41.3	831	529	9.1	0.4	83	中の上	* さび病	中	やや強	やや強	強	や	や	強	強	中	中稈・強稈で草型も良く、耐寒雪性は強。穂発芽性は難。加工適性が高く、麵用粉として食味も良好である。
小麦	夏黄金	関東123号×東北214号のF ₁ ×関東123号×東北209号のF ₁ ×もち盛系C-3170s (東北農研センター, 平28)	平28	基幹	5.6	6.21	76	8.2	453	種短	やや開	難	中	Ⅴ	39.2	827	528	10.8	0.46	83	中の上	* さび病	中	中	中	強	強	強	強	強	強	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麵にも適する。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成28～令和2年) * 印の特性は「小麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質(60%粉)のデータはあおはの恋は平成16～18年、シラネコムギは平成29年、その他は平成25～29年の調査結果による。

種類	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採用年次	奨励品種区分	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	* 芒の長短	* 株の開閉	* 穂発芽性	* 脱粒性	* 秋播性程度	玄麦		品質		外観品質	諸抵抗性						概要							
															千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 当たり収量 (kg)	硝子率 (%)		55% 搗精白度	炊飯白度	* さび病	* うどんこ病	* 赤かび病	* 凍上害抵抗性		* 耐寒性	* 耐雪性	耐倒伏性				
大麦	シユンライ	ミリムギ×東山皮68号 (長野農試, 平2)	平3	基幹	4.25	6.5	89	3.8	454	やや長	閉	易	中	Ⅰ	38.9	697	584	50.3	46.6	37	中の上	* さび病	—	やや弱	やや弱	弱	強	や	や	強	強	強	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。
大麦	ホワイトフアイバー	東山系37×東山皮96号 (長野農試, 平27)	平28	特定	4.25	6.6	90	4.3	443	長	中	中	中	Ⅰ	37.4	686	554	31.2	46.9	34	中の上	* さび病	—	やや強	やや強	強	や	や	強	強	強	中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強。もち性。	
大麦	ミリムギ	東山皮1号×コウゲンムギ (長野農試, 昭44)	昭44	基幹	4.29	6.8	99	4.1	482	長	中	易	や	Ⅳ	36.5	684	593	47.4	47.6	35	中の上	* さび病	中	中	中	強	や	や	強	強	強	多収。長稈で株がやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性、耐雪性は強。	

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成28～令和2年、ただし「ホワイトフアイバー」は平成25～29年、令和2年) * 印の特性は「大麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質のデータは平成25～29年の調査結果による。

XIV 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品種	平成28年産		平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産								
	作付割合		作付割合		作付割合		作付割合		作付割合		作付割合								
	作付面積	A	B	作付面積	A	B	作付面積	A	B	作付面積	A	B							
うるち	やまのしずく	46	0.1%	0.1%	45	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	8	0.014%	0.014%
	ササニシキ	3,799	6.4%	6.2%	3,751	6.6%	6.4%	3,534	6.4%	6.2%	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	3,924	6.8%	6.6%
	ひとめぼれ	46,542	78.3%	75.7%	44,285	78.1%	75.5%	42,218	76.2%	73.7%	43,887	77.1%	75.0%	43,988	75.8%	74.0%	42,508	73.7%	72.0%
	まなむすめ	3,449	5.8%	5.6%	2,784	4.9%	4.7%	2,831	5.1%	4.9%	2,532	4.4%	4.3%	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%
	だて正夢	—	—	—	—	—	—	287	0.5%	0.5%	608	1.1%	1.0%	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%
	げんきまる	882	1.5%	1.4%	823	1.5%	1.4%	1,050	1.9%	1.8%	983	1.7%	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%
	トヨニシキ	140	0.2%	0.2%	131	0.2%	0.2%	123	0.2%	0.2%	114	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	96	0.2%	0.2%
	コシヒカリ	716	1.2%	1.2%	517	0.9%	0.9%	615	1.1%	1.1%	573	1.0%	1.0%	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%
	つや姫	3,427	5.8%	5.6%	3,772	6.7%	6.4%	3,986	7.2%	7.0%	4,085	7.2%	7.0%	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%
	東北194号	175	0.3%	0.3%	296	0.5%	0.5%	278	0.5%	0.5%	232	0.4%	0.4%	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%
	蔵の華	146	0.2%	0.2%	154	0.3%	0.3%	148	0.3%	0.3%	153	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%
	ゆきむすび	48	0.1%	0.1%	67	0.1%	0.1%	58	0.1%	0.1%	61	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	49	0.1%	0.1%
	たきたて	63	0.1%	0.1%	56	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	37	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	29	0.1%	0.0%
	金のいぶき	—	—	—	—	—	—	235	0.4%	0.4%	156	0.3%	0.3%	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
計	59,429	100%	96.7%	56,681	100%	96.6%	55,390	100%	96.7%	56,902	100%	97.2%	57,994	100%	97.6%	57,649	100%	97.6%	
もち	ヒメノモチ	41	2.0%	0.1%	65	3.3%	0.1%	49	2.6%	0.1%	53	3.2%	0.1%	22	1.5%	0.0%	30	2.1%	0.0%
	みやこがねもち	1,955	96.9%	3.2%	1,887	95.5%	3.2%	1,832	96.4%	3.2%	1,577	95.8%	2.7%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%
	こちまる	22	1.1%	0.0%	23	1.2%	0.0%	20	1.0%	0.0%	16	1.0%	0.0%	15	1.0%	0.0%	16	1.2%	0.0%
計	2,018	100%	3.3%	1,975	100%	3.4%	1,900	100%	3.3%	1,645	100%	2.8%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	
合計	61,446	—	100%	58,656	—	100%	57,289	—	100%	58,547	—	100%	59,442	—	100%	59,038	—	100%	

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別内の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

X V 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成27年産		平成28年産		平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	
大豆	ミヤギシロメ	4,640	41.8%	4,452	39.4%	4,726	42.2%	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%
	タンレイ	2,775	25.0%	2,723	24.1%	2,613	23.3%	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%
	タチナガハ	2,964	26.7%	3,243	28.7%	3,293	29.4%	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%
	あやこがね	300	2.7%	316	2.8%	258	2.3%	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%
	きぬさやか	100	0.9%	102	0.9%	101	0.9%	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%
	すずほのか	122	1.1%	136	1.2%	127	1.1%	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%
その他	56	0.5%	294	2.6%	78	0.7%	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	
合 計	11,100	100%	11,300	100%	11,200	100%	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	

注1) 作付面積は東北農政局統計情報部資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

注2) 令和2年産の作付面積は、令和2年10月30日公表の速報値に基づく。

XVI 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成28年産			平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産			
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		
		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B				
大麦	ミノリムギ	300	28.6%	13.5%	318	30.0%	14.1%	336	28.7%	14.8%	292	25.2%	12.8%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.7%
	シュンライ	735	70.0%	33.0%	723	68.2%	32.0%	814	69.6%	35.9%	667	57.5%	29.1%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.4%
	ホワイトファイバー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	181	15.6%	7.9%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.3%
	その他	15	1.4%	0.7%	19	1.8%	0.8%	20	1.7%	0.9%	20	1.7%	0.9%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%
	計	1,050	100.0%	47.1%	1,060	100.0%	46.9%	1,170	100.0%	51.5%	1,160	100.0%	50.7%	1,160	100.0%	51.3%	1,280	100.0%	54.3%
小麦	シラネコムギ	683	57.9%	30.6%	700	58.3%	31.0%	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	564	52.4%	23.9%
	夏黄金	—	—	—	—	—	—	—	—	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	394	36.6%	16.7%	
	あおばの恋	110	9.3%	4.9%	119	9.9%	5.3%	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	102	9.5%	4.3%
	その他	22	1.9%	1.0%	31	2.6%	1.4%	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	16	1.5%	0.7%
計	1,180	100.0%	52.9%	1,200	100.0%	53.1%	1,100	100.0%	48.5%	1,130	100.0%	49.3%	1,100	100.0%	48.7%	1,076	100.0%	45.7%	
合 計	2,230	100%	100%	2,260	100%	100%	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,356	100%	100%	

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

2) 平成18年以降の作付面積は、統計上の作付面積から麦類の播種状況調査結果より換算。

3) 令和2年産の面積は令和2年11月30日公表の速報値。

4) 令和3年産の面積はみやぎ米推進播種状況調査による。